

6. 研究報告抄録

瀬戸臨海実験所研究報告(Publications of the Seto Marine Biological Laboratory)第 40 巻 5/6 号が 2008 年 4 月 30 日に発行された。掲載論文 5 篇, 総頁数 92 頁。

- 論文 1. Lewis, C., Kubota, S., Migotto, A. E. and Collins, A. G.: Sexually dimorphic cubomedusa *Carybdea sivickisi* (Cnidaria: Cubozoa) in Seto, Wakayama, Japan. [一・久保田 信・一: 和歌山県瀬戸漁港で採捕された性的二型の立方クラゲ目 *Carybdea sivickisi* (刺胞動物, 箱虫綱)]. 2006 年 8 月 11 日から 18 日の間、性的二型を示す立方クラゲ目ヒメアンドンクラゲ *Carybdea sivickisi* の多数個体を和歌山県瀬戸漁港で採捕した。過去に和歌山県瀬戸で採集された 3 個体の立方クラゲは Uchida (1929) により *Tamoya alata* とされていたが、その標本が 1970 年に同人に再検討され *Carybdea sivickisi* だと結論された。1929 年以来 *C. sivickisi* は瀬戸付近で記録がなかったが、本論文により *C. sivickisi* の地理的分布をはじめ発育段階の形態や生殖行動などにさらなる確証が得られた。(1-8 頁)
- 論文 2. Iwata, F.: On the monostiliferous hoplonemertean from the San Juan Archipelago, Washington state, USA. [岩田文男: アメリカ、ワシントン州のサンフアン群島産の単針紐虫 3 種について]. アメリカの東北太平洋沿岸から報告された単針紐虫 3 種 *Amphiporus formidabilis* Griffin, 1898, *A. imparispinosus* Griffin, 1898, *Nipponnemertes punctatula* (Coe, 1905) の形態学的特徴を再検討した記載報告である。*A. imparispinosus* を除く 2 種は日本の太平洋沿岸に普通に見られる。ヤジロベヒモムシ *A. formidabilis* はこの属のタイプ種 *A. lactifloreus* との間で吻の補助針囊数と吻神経数が相違する。ホソヒメヒモムシ (新称) *A. imparispinosus* の種の明瞭な特徴は側神経幹上に頭部神経節に端を発し腹神経節に移動後に側神経幹に入る小さい補助神経が存在することである。マダラヒモムシ *N. punctatula* は頭部と吻装置の構造が特異的である。(9-45 頁)
- 論文 3. Chavtur, V.G. and Stovbun, G.G.: A new genus and a new species of pelagic ostracods of the subfamily Halocypridinae from the North Pacific. [一・一: 北太平洋産ハロキプリス亜科の新属新種の浮遊性介形虫]. ハロキプリス亜科において、新属 *Halocyprretta* を提唱するとともに、新種 *Halocyprretta parvirostrata* を記載した。従来 *Halocypris striata* と呼ばれていたインド洋産の種は、本属に所属が変更された。ハロキプリス亜科の属および *Halocyprretta* 属の種に対する検索表も示した。(47 -54 頁)
- 論文 4. Chavtur, V.G. and Stovbun, G.G.: Pelagic ostracods of the genera *Halocypris* and *Felia* (Subfamily Halocypridinae) from the North Pacific. [一・一: 北太平洋産 *Halocypris* 属と *Felia* 属の浮遊性介形虫]. ハロキプリス亜科の *Halocypris* 属の 2 種と *Felia* 属の 2 種について、北太平洋産の材料に基づいて再検討を行い、シノニムや産地についても示した。さらに、新種 *Halocypris angustifrontalis* を記載した。*Halocypris* 属と *Felia* 属の種の検索表も示した。(55-84 頁)
- 論文 5. Oka, A. T. & Hirose, E.: Photosymbiotic ascidians from Nakanoshima Island and Takarajima Island (the Tokara Islands, Ryukyu Archipelago, Japan) with remarks on the status of *Diplosoma midori* (Tokioaka, 1954). [岡 篤・広瀬裕一: 中之島および宝島 (トカラ列島) における藻類共生性ホヤとミドリネンエキボヤの分類学的扱いについて] 中之島および宝島 (トカラ列島) のサンゴ礁海岸における藻類共生性ホヤ相 (3 属 11 種) を報告する。そのうち、宝島を模式産地として記載されたミドリネンエキボヤ *Diplosoma midori* (Tokioaka, 1954) は模式標本の状態が詳細な観察に不適であるため、宝島で採集したトポタイプを検討したところ、*Diplosoma simile* または *D. virens* の新参シノニムと判断された。(85-92 頁)